

保育学科カリキュラム（履修モデル例）

Curriculum カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
	保育者の基本的な知識と社会人としての教養を学び、人間性を高めます。	3つの分野を学び、学修・保育実習から得た課題を明確にし、専門的な研究へつなげます。	修得した専門知識をさらに深め、幼稚園実習・保育実習を通じて実践力を養います。	明確になった課題を追究し、幼児教育のリーダーとして、社会に貢献できる力を養います。
実習プログラム 幼稚園・保育所・児童福祉施設などでの実習の機会を1年次から取り入れ、幼児教育の現場を体験することにより、実践力を高めていきます。 <small>※授業科目以外のプログラムを含みます。</small>	保育所体験実習 〈2日間〉	保育実習Ⅰ 〈保育所観察実習：3日間〉 〈保育所実習：10日間〉	教育実習（幼稚園） 〈4週間〉 保育実習Ⅰ 〈施設実習：10日間〉	保育実習Ⅱ〈保育所実習〉 または 保育実習Ⅲ〈施設実習〉 を選択 〈10日間〉
共通科目	国語 保育原理 社会福祉 教養セミナー 人間力セミナー	教育原理 保育内容総論Ⅰ 保育実習指導Ⅰ（保育所） 保育実践演習	保育実習指導Ⅰ（施設） ゼミナールⅠ・Ⅱ 教育実習（幼稚園） 社会保障論	教職実践演習（幼稚園） ゼミナールⅢ・Ⅳ 保育実習Ⅱ・Ⅲ 保育実習指導Ⅱ・Ⅲ
保育心理学分野 心理学の視点から子どもの理解と子育て支援の方法を学び、現代の子どもが直面しているさまざまな課題に積極的に対応できる専門的な知識を学びます。	保育者のための調査法 発達心理学 子どもの個々の能力だけでなく、全体的な人格の発達を考慮し、保障することを基本としながら、知識を教えることだけに主眼を置かず、考える授業を展開します。 	教育心理学（幼稚園） 保育内容（人間関係） 教育・保育課程論 保育者論 子どもの理解と援助 子どもの発達論 障害児保育 保育内容（言葉）	子ども家庭支援論 教育方法の理論と実践 健康的な生活の基本となる食生活の意義を学び、子どもの発育・発達と食生活の関連性について理解します。 	保育相談支援 幼児理解及び教育相談の理論と方法 特別支援教育総論
子育て・療育支援分野 発達障害・体力の低下・食育などの子育て支援における課題を、それぞれの分野から専門的に研究し、支援方法や解決方法を提案できる知識・技術を学びます。	障害児の支援の方法 生活	子どもの食と栄養 子ども家庭福祉 社会的養護Ⅰ 保育内容（環境） 保育内容（健康） 乳児保育演習	特別なニーズ教育の基礎と方法 子どもの保健Ⅰ 家庭支援論 社会的養護Ⅱ 保育内容総論Ⅱ 幼児体育 	特別支援教育各論 子どもの保健Ⅱ
感性教育分野 音楽や造形などの科目を学び、技術を高めるとともに表現力を磨き、創造的で豊かな感性と温かな人間性をもつ保育者をめし、音楽活動や芸術的表現と援助のあり方の知識・技術を学びます。	造形表現 幼児のためのピアノ奏法Ⅰ 幼児のための伝承音楽 合唱	幼児音楽Ⅰ 保育内容（音楽表現） 幼児のためのピアノ奏法Ⅱ 絵本Ⅰ・Ⅱ 	幼児音楽Ⅱ 幼児環境デザイン 保育内容（造形表現） 幼児のためのピアノ奏法Ⅲ 	幼児のためのピアノ奏法Ⅳ 豊かな感性と造形表現力を高め、個性的な子どもたちの育成を助けします。造形を通して、幼稚園・保育所などの活性化を行える発想力を身につけます。

※カリキュラムは変更になる場合があります。

Pick Up_1

ミュージカル制作

保育学科3年生が、演者・裏方となって発表



毎年7月、近隣の幼稚園・保育所の園児、関係者を招いたミュージカル発表会を開催し、授業の中でつくり上げてきた成果を発表します。子どもたちのより高い表現力を引き出すため、学生一人ひとりがこのミュージカル制作を通して、創造的表現力の育成や、企画力・協調性・コミュニケーション能力・造形的技能など、保育者として必要な資質を養います。

Pick Up_2

ボランティア活動

習得した保育技術を学外の活動で実践



学生が積極的に、子育て支援センター、福祉施設でボランティア活動を行っています。子どものための音楽サークル「ZOO」や、幼児向け実技サークル「ぱれっと」では、幼稚園・保育所・福祉イベントなどで、学んできた手遊びや劇遊びを子どもたちの前で披露し、子どもたちの情操を育てる活動をしています。これらの活動を通じて保育職となるための技術を習得していきます。